

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	消費者バザー開催事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	男女共同参画課		包含する細々目	1	2	1	7	11	1	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	56 廃棄物の減量と適正処理											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	消費者基本法 国の消費者基本計画(環境に配慮した消費行動の促進)						
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民(消費者)	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844		107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	環境に配慮した消費を行う	バザー出品点数	18目標		最終目標		最終目標達成年度
			18実績	1020	19目標	1000	
23目標		1000	23実績				
バザー参加人数		18目標		最終目標		最終目標達成年度	
	18実績	200	19目標	200	↑		
	23目標	200	23実績				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	資源循環型社会構築のために、ものを大切にすること、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を実施する目的で、飯田市連合婦人会と共に、不用品交換会(リサイクルバザー)及び環境講演会を開催する	18年度の実績 不用品交換会(リサイクルバザー)の開催 環境講演会の同時開催	開催回数	1
	19年度計画 不用品交換会(リサイクルバザー)の開催 環境講演会の同時開催	開催回数	1	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	0
	一般財源	108	106
	事業費計(A)	108	106
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	251	249

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	ゴミを少なくする 適正に処理・リサイクルされる	ゴミの収集量(家庭系一般廃棄物)	現状値	25595	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	25100
	再資源化率(家庭系一般廃棄物)	再資源化率(家庭系一般廃棄物)	現状値	34.4	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	35	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
1980年から、飯田市連合婦人会と飯田市は、毎年2月を「ものを大切にする運動強調月間」として、不用品交換会(リサイクルバザー)に取り組んできました。	平成16年6月に制定された消費者基本法に基づく国の消費者基本計画に、消費者の自立のための基盤整備の課題として、「環境に配慮した消費行動の促進」が掲げられた。 京都議定書が平成17年2月に発効し、地球温暖化防止等、環境問題の重要性がますます高まっていることを踏まえ、次のような取り組みが計画された。 ・地球温暖化をはじめとする環境問題への危機意識を具体的な行動へとつなげる消費者の取組みの支援 ・二酸化炭素排出削減に向けた国民運動の展開 ・ごみの発生抑制、再使用、再生利用の普及啓発	

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 広報により市民の認知率を上げることで、参加者が増える余地がある
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 全市民を対象としている		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響なし (その理由) 当バザーが廃止・休止となっても、市の環境施策に直接的な影響はない
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) バザー品の出品や行事への参加が必須である		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) バザーとしては、生活展や地区開催のバザーがあるが、秋季に実施される場合が多く、2月の冬季開催のバザーは少なく、時期的にも冬物衣料などが出品される
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由) 女性団体の「環境に配慮した消費行動」を市が支援することは、法の理念や消費者基本計画で示された方向とも合致する		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 飯田市連合婦人会の活動に対する負担金は、行事の共済負担金であり、全体の事業費に対して金額的にも妥当である

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	